



発行・問合わせ 伏見区ボランティアセンター

(運営：社会福祉法人京都市伏見区社会福祉協議会)

電話 075-603-1287

FAX 075-603-4532

〒612-8318

伏見区紙子屋町 544

京都市伏見社会福祉総合センター2F

協力 伏見区ボランティアグループ連絡会

Vol.42

ボランティア活動訪問記

取材ファイル No.2 **かたつむり**

伏見区ボランティアグループ連絡会に所属している各ボランティアグループの魅力を紹介すべく、伏見区社協職員が活動取材を行っています！

(取材：宇野)



●団体基本データ●

・代表者：太田 寿 ・発足：1980年

・活動目的：中途失聴・難聴者の情報保障をしようと、要約筆記講座の修了者が中心になって活動を始めた京都市のサークルです。「かたつむり」という名前は耳の中にある蝸牛にちなんでいて、難聴者の耳代わりになろうという思いを示しています。

緑綬褒章受章のご報告

かたつむりは令和3年秋の褒章で緑綬褒章を受章しました。長年の社会奉仕活動が評価されたものです。会員一同大変喜んでいました。11月24日には京都府公館で褒章の伝達式があり、知事から緑綬褒状を受け取りました。身の引き締まる思いでした。

かたつむりは伏見区でも活発に活動しています。会員の高齢化が進んでいますが、活動の灯を絶やさないように今後もがんばりたいと思います。(かたつむり 太田寿)

誰もが楽しめる場づくりを

かたつむり伏見は伏見区在住の会員が2拠点で活動を行っています。取材日は1月でお正月を迎えたばかりということもあり、普段の小物づくりと趣向を変えて坊主めくりとババ抜きが行われました。坊主めくりではカードをめくるたびに一喜一憂し、ババ抜きでも互いの顔を伺いながら真剣にカードを選びます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、この日の活動に中途失聴・難聴者の方の参加はありませんでしたが、日頃は下部の写真の道具（ホワイトボード）を使用し、会員の方が要約筆記を行い、そこにいる全員が楽しめる場づくりを行っています。この他に区役所や社協で要約筆記技術向上のための学習会と健康維持のための体操をしています。



▲中途失聴・難聴者の方に文字を書いて伝えるホワイトボードです。